

(II) ナイトハイキング

1 活動の目的、効果

(1) 体験活動上の効果

◎阿蘇の自然に親しむ ◎仲間づくり・協調性 ○集団行動・規律

(2) ESDの課題解決に必要な7つの能力・態度

⑥ つながりを尊重する態度

人・もの・こと・社会・自然などと自分とのつながり・かわりに関心を持ち、それらを尊重し大切にしようとする態度

2 活動の詳細

概要 (セールスポイント)	<p>交流家の敷地内で懐中電灯を持ちながら暗闇をハイキングします。 夜空に広がる星空、動物や昆虫たちの鳴き声、草原が風で揺れる音、草原の匂い、冬季は突き刺すような寒さ… 阿蘇の自然が、四季を通して楽しめます。 暗闇だからこそ、聴覚・触覚・嗅覚・視角がより敏感になり、体中を使って楽しめるプログラムです。</p> <p>※危険度の高いプログラムの為、引率者数によって実施形態を指定しています。 ※実施コースはあなぐまコース、あかうしコースの2コースがあります。</p>				
諸条件	実施形態	自主活動	提出書類	不要	
	必要経費	不要	所要時間	1時間程度	
	活動場所	敷地内草原 (1km程度)		対象・人数	最大300人程度
	時期	通年	事前の下見	必須	天候
準備するもの	青少年交流の家で貸し出し可能な物			団体で準備する物	
	無線機				<ul style="list-style-type: none"> 懐中電灯 (各班1個・引率者一人1個) 温かい服装 (冬季)
役割分担	青少年交流の家職員が行うこと			団体引率者が行うこと	
	<p>2) 当日</p> <p>①事前説明※17:00までに事務室で実施。 交流の家職員から団体引率者(担当者)へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ①立哨ポイントについて ②無線の使い方について ③危険箇所等について <p>②無線機を準備し、貸し出す</p> <p>④無線機の受け取り</p>	<p>1) 事前(学校で)</p> <p>ナイトハイキング指導用動画を視聴する 実施コースを決め、役割分担をする</p> <p>2) 当日</p> <p>①事前説明を受ける(担当者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ②無線機を受け取る ③活動の指導を行う <ul style="list-style-type: none"> ①安全面、コースについて ②ルールに従って活動を進める。 ③人員・健康状態の確認 ④活動のふりかえり ④無線機を返却する 			

3 活動のふりかえりのポイント

視点: ①「楽しんで、仲間と協力して活動することができたか。」

②「活動場所であった『草原』について、興味関心を持つことができたか。」

発問例: ①「この活動中の、グループのメンバーについて、頑張っていたこと、うれしかったこと、など自分が気づいた『ナイスファイト!』を伝えあいましょう。」

②「今日、みんなが活動した草原(牧野)は、何のためにあるか、また私たちの生活と深くかかわっていることを知っていますか?」

4 SDGsで目指す姿

<p>4 質の高い教育をみんなに</p> 	<p>15 陸の豊かさも守ろう</p> 	<p>15.4 2030年までに持続可能な開発に不可欠な便益をもたらす山地生態系の能力を強化するため、生物多様性を含む山地生態系の保全を確実に行う。</p> <p>ナイトハイキングの活動の場である、阿蘇の草原、牧野について興味を持つとともに、これらの自然が長い年月をかけた人々の努力を知り、豊かな自然を守るために自分にできることを考え行動しようとする姿。</p>
---	---	---

4 ナイトハイキング指導用動画について

(アナグマコース)

(あかうしコース)

各コース8分程度の動画です。

ナイトハイキングコース内で注意が必要なポイント、引率者の立証ポイントなどを解説しています。

来所前に全引率者で視聴し、役割などを確認してきてください。

《ナイトハイキング指導のポイント》

※事前に必ず指導用動画を観てきてください。

設定コース … どちらのコースも1周 約1km ゆっくり歩いて 30分程度です。

A) あなぐまコース … 満点の星空を眺めながら歩ける、比較的平坦なコースです。

B) あかうしコース … 谷あり、柵あり、勾配ありの林道を歩く、少しスリリングなコースです。

※ A・B コースを合わせた実施も可能です。(要相談)

進め方は以下の2つのパターンがあります。

①班行動(引率者が本部待機含め、3名以上いるときに実施可能)

・引率者が先に各ポイントに行きます。

事前指導と並行して立哨ポイントに立つスタッフは移動を開始する。

・児童、生徒を班ごとに出發させます。

必ず全引率者がポイントに着いたことを確認の上、出發させてください。

・各ポイントの引率者は懐中電灯の明かりで児童・生徒を誘導します。

・各ポイント間で引率者が安全管理を行います。

《出發前に指導すること》

① 必ず班で行動すること、グループを分裂させないこと。

② 道順について。(立証ポイントの場所、だれがポイントに立っているか)

③ 困ったときにどうするか。

野性生物 … 引き返す

けが、事故など … 近くの先生を呼びに行く(1人で行動はしない)

④ 活動中は絶対に走らない。特に足元に注意する。

⑤ 持ち物の確認 … 懐中電灯、水筒(夏季)、虫対策(春~秋季)、防寒対策(冬季)

⑥ トイレを済ませる

《立証ポイントで確認すること》

① 通過した班の数

② 各般の人数(グループが分裂していないか)

③ けがなどはないか。

④ ポイント以降のルートの危険箇所等についての注意喚起。

②一斉行動(引率者が2名以下の場合)

・児童、生徒を班ごとに出發させることはできません。

・引率者が先頭と最後尾、余裕があれば、班やクラスの間引率者が入り隊列で行動します。

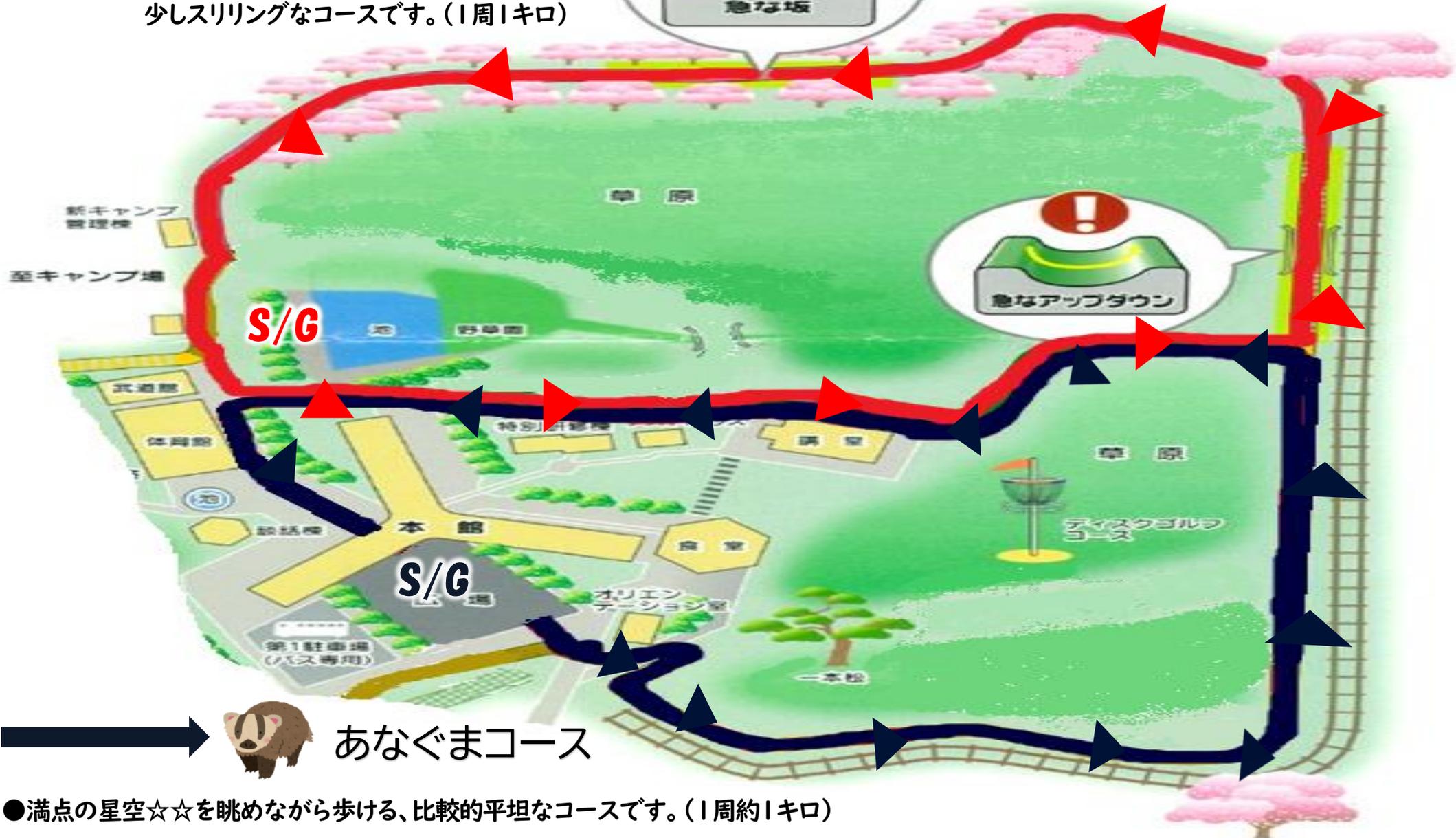
・出發前の指導事項は、上記を参考にしてください。



ナイトハイキングコースマップ (約30分)



●谷あり、柵あり、勾配ありの林道を歩く、
少しスリリングなコースです。(1周1キロ)



●満点の星空☆☆を眺めながら歩ける、比較的平坦なコースです。(1周約1キロ)

ナイトハイキング立哨ポイント

③桜並木う回路への注意喚起



④急な坂(階段)への注意喚起




あかうしコース
本部待機・②・③・④
計4名

引率者の最低人数


あなぐまコース
本部待機・①・②
計3名

※あなぐまコースは
①からスタートすれば
引率2名でも実施可能



(あかうし)
下り階段への
注意喚起



(あなぐま)
方向転換の
指示

各コースの詳細を動画で確認できます!



<https://youtu.be/IcmSCjZvxUo>



<https://youtu.be/kvzMdNiDZc8>

①階段を下る

